

平成29年度第2回 富士見市いじめ問題対策連絡協議会会議録要旨

<日時> 平成30年2月13日(火) 午後1時25分～3時30分

<開催場所> 市役所 分館3階会議室

<出欠状況>

井上	掘川	児玉	寺島	戸塚	原田	山川
欠席	○	○	○	○	○	欠席
山中	今泉	佐藤	大原	小川	和田	久米原
○	欠席	○	○	○	○	○
北田						
○						

<事務局>

子育て支援課長 学校教育課長 子育て支援課副課長

子育て支援課主事

<傍聴人> 1名

<次第>

1 開会 子育て支援課長

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 各所属におけるいじめ防止対策に関する取組等について

4 事務連絡

5 閉会

<議事>

(1) 各所属におけるいじめ防止対策に関する取組等について

【会長】今回の議事は、各所属におけるいじめ防止対策に関する取組と本協議会についてのあり方などをご意見いただくため、事前にアンケートをお願いし、本日はその発表をしていただくこととなっております。委員の皆様にはアンケートにそれぞれの活動について記入してきていただいていると思いますが、各所属の発表をお願いします。

《アンケートより》

1 所属の活動について

(1) 各所属におけるいじめ防止対策に関する取組等、子どものために行っている活動を教えてください。

～各所属の取組についての報告は“別紙”により

(2) 行った取組に関する課題や今後行った方がよいと思われる取組を教えてください。

(3) いじめ防止対策に関する取組等で、他団体との連携が考えられる活動や連携したいと思う活動を教えてください。

【委員】～ふじみ野小学校

(2)の“課題”は地域や保護者への情報発信です。「学校だより」でお知らせしていますが、もう少し地域や保護者の方に、いじめをストレートに考えていただくような取組、啓発が必要だと思います。(3)の“連携”は、SNSなど専門的な事案について、他団体との連携を行っていかねなければならないと考えています。

【委員】～西中学校

(2)の“課題”は、まずアンケート実施後、どう活用したかというのが問題になってくると思います。それから、学校は何と言ってもいじめられた子どもを全力で守ると同時に、いじめた側にもきちっと指導し、それで終らず解消が続いているかどうかの継続的な見届けが必要であること。それから、スマホのSNSの問題です。これについては、保護者の方にご協力いただくために、啓発のための情報発信をすること。あとは、教員が見えない状況を鋭く見抜く力を養う必要があります。最後に年度当初に子どもたちに向かって、いじめは絶対に許さないという学校の方針等を示すことにより、安心してもらうことが必要だと思います。(3)の“連携”は、学校警察連絡協議会の中での情報を提供していただいたりとか、いじめの防止に関する講習や研修などに参加するよう連携を図っています。

【委員】～青少年育成推進員の会

(2)の“課題”は、「第3日曜日は家庭の日」と「非行防止」についてのチラシを子どもフェスティバルやふるさと祭りの際に配布しており、ご家庭でいじめの問題についてもお子さんと話をして下さいというきっかけの意味も含めての配布と考えています。ただ、読んでいただけているのか不安ということと、いじめだけに特化して活動するのは難しいということが課題です。(3)の“連携”ですが、西中学校区には青少年健全育成会議があり、そこに推進員も入れていただいて連携が図られていますが、他の地区ではありません。

【委員】～民生委員児童委員協議会連合会

(2)の“課題”は、今後も他団体との行事などに参加することを継続していくことと考えています。これらの活動が子どものいじめ防止、あるいは不登校や貧困防止などにつながっていければと思っております。(3)の“連携”ですが、放課後児童クラブや学校への訪問が一番大事だと思います。

【会長】～人権擁護委員

(2)の“課題”は、取り組んだ課題をその後どう取り組んでいくかがということが課題かと思えます。近隣市と比べてミニレターが多いねという話をするのですが、多い方がいいのではないかと思います。子どもたちのちょっとした心のつまずきとか、傷を早めに見つけて取り組めていけるので、かえって多い方がいいのではないかと考えます。(3)の“連携”は、スマートフォンやDVの問題についての研修会や駅またはイベント会

場での啓発活動を実施し、連携しています。

【委員】～放課後児童支援員

(2)の“課題”は、「ここふわカード」については大規模クラブでは運用、活用が不十分だったところです。(3)の“連携”は、小学校と具体的ないじめの事例など共有させていただきながら、一緒に対応させていただければと思います。

【委員】～少年指導委員

(2)の“課題”は、少年指導委員としては特にはないのですが、市内で青少年関係のボランティアをしておりますので、私個人としては他団体と協力し合った活動を今後も行っていきたくと思っています。(3)の“連携”は、ボランティアの活動の中で、以前非行少年の立ち直り支援ということで、警察関係の方と対象者の少年たちと、サッカー大会を行ったことがあり、ごはんの炊き出しをしたりしました。私はできるだけこのようなボランティアに協力していきたくと思っています。

【委員】～東入間警察署

(2)の“課題”は、様々な年齢に応じたわかりやすい情報共有と見えないういじめに対するSNSのサイバーパトロールを通じて、早期にいじめを把握することだと考えます。(3)の“連携”は、警察にもあるいじめ相談窓口、スクールサポーター制度を利用していただけると周知していきます。

【委員】～子ども未来部

(2)“課題”についてですが、「いじめ防止サポーター制度」を開始して、3年が経過した中でのサポーターの広がり、さらなる周知をどうしていくのが課題です。平成27年に実施した市民意識調査では重要度は非常に高いのですが、満足度が低いという結果があり、理由はいじめ防止対策の内容が不明瞭ということでした。まだまだ市民の方に浸透していないのが実態なのかなというところが課題だと思っています。(3)“連携”については、本市のいじめ防止条例の特色の1つなのですが、法律に規定がない項目として、市民等の役割というのがございます。これは市独自で市民等の役割を定めたものでございます。1つ目は地域での子どもに関心を持ち見守るとともに、子どもが安心して過ごすための環境づくりに協力していただくこと。2つ目はいじめを発見した場合には市や学校、関係機関等への情報提供の協力いただくこと。3つ目は市、学校、または関係機関の実施する事業等への協力をお願いするもの。このような3つのことを、市民等への役割と位置づけしております。そういった意味から、市が色々な関係団体の皆さんをつなぐということが大事であり、そのためには周知と啓発が大切なことだと考えております。

【委員】～健康福祉部

(2)“課題”と(3)“連携”についてですが、個人情報保護を意識する方が非常に多くなってきていて、今後子どもの保護者の方が、他の関係機関

への情報提供を拒否される場合が想定されます。こういった時に連携が取れなくなってしまうので、早期解決に向けてどうやって保護者を説得するかということが、大きな課題になってくると考えています。

【委員】～教育委員会

(2)の“課題”は、ネットいじめに関する取組を今後どのように進めていくか、例えば、子どもたち自身によるルールづくりを進めたいと考えております。それから、命を大切にせる授業、自分も他人も大切にするとといったような活動の授業の実践を行っていきたいと考えています。それから、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力を育成するための、さらなる授業の充実を進めていきたいと考えています。学校間、教職員間で情報共有して共通理解をしたうえで、取組を充実させていくということが、今後大きな課題かと思えます。(3)“連携”は、様々な連携が考えられると思えますが、学校応援団、学校運営支援者協議会、それからPTAや町会のみなさん、それから青少年健全育成協議会、東入間警察署など、たくさんの方々と情報を共有し、それぞれの特性を生かしながら、連携を進めていけたらと考えております。

【会長】以上の発表について、ご質問はありませんか。

【委員】小学校の行事で1/2成人式というのがありますが、その際、小さい頃の写真や親からのメッセージを用意したりするようですが、いろいろな問題を抱えているお子さんはなかなか難しいかと。それが原因でいじめに発展するのではないかと思うのですが、いかがですか。

【委員】今行っている1/2成人式は、過去のことよりも未来へスタンスを向けております。学校側でも十分な配慮を行っております。

【委員】教育委員会で発表のあった「いじめのない学校づくりこども会議」に、私たちのような団体の者が参加して、直接子どもの意見を聞くということはあるのですか。私たちが直接子どもの意見を聞いたりとか、保護者の意見を聞いたりという機会があまりないのです。

【委員】「いじめのない学校づくり子ども会議」は、毎年11月14日、県民の日ですが、毎年同じ日に行っています。ぜひ様々な方たちと問題を共有したいと考えておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

【委員】私は少年指導委員として月に1回、学校へ行く機会がありますが、その際、先生たちが子どもたちに声をかけているその姿が、すごくうれしく思うことができました。声をかけてくれるということは、大事に思っているから声をかけているのであって、そのイントネーションがとっても素敵なのです。校長先生の、おはよーっ、おはよーっという言い方が。今日も元気に来たねっという心が伝わってくるようなお声がけを、子どもたちにして下さっているのです、やっぱり大人の態度ってすごく大事だなと思いました。

《アンケートより》

2 いじめ問題対策連絡協議会について

(1) いじめ問題対策連絡協議会についてご意見ください。

(今後の協議会を有効活用するためのあり方など)

【会長】 続いていじめ問題対策連絡協議会のあり方などについてご意見などお願いします。

【委員】 ～ふじみ野小学校

このように様々な立場の方々が一同に会することが、まず一番大事だと思います。それだけでも、本当に意味のあることだと思っています。その中でも学校という立場から考えていくと、子どもたちに直接的な指導は積極的に行っておりますが、やはり保護者への啓発や地域を巻き込む取組などは少しまだ足りないところがあると感じております。そういう部分で、やはり地域、大人の力を動かすというところで、この会がより機能していただけると学校も助かっていきます。大人の考えていること、大人の行動を子どもたちが見ることができるような組織であればいいのではないかと考えております。

【委員】 ～西中学校

大人社会がいじめに対して、本当に真剣に立ち向かうようになったよということを、子どもにもPRしていく1つの大きな大事な場だと考えています。また、情報交換をしていく有効な場でもあると思っています。それから、いじめ問題に関しては、学校が中心になっていじめを解消していくという覚悟はできておりますので、その辺の学校の取組と理解と協力を、学校側もオープンにしながら、近隣の皆様をお願いをしたいと思っています。

【委員】 ～青少年育成推進員の会

今回皆さんから色々な活動報告を聞くことができ、かつ、新たに参加できる事業があったということで、本当に有意義だったと思いました。学校が細やかに対応していることが現実的に知る事ができて、すごく頼もしいというか、いい話を今日は聞くことができたと思いました。

【委員】 ～民生委員児童委員協議会連合会

いじめの問題というのは個人的に言うと、報道によるものだったり、実感があまりないのです。具体的な事例を教えていただき、それに対してどういうことができるのか、考えることも必要だと思っています。

【会長】 ～人権擁護委員

このような会の中で各種団体が色々な意見を持ち寄って、各種団体との連携を密にしていくことが、いじめ問題を考えていくうえでは一番大切ではないかと思いました。

【委員】 ～放課後児童支援員

こちらで何うお話など大変勉強になるのですが、さらに色々な方面の、直接支援していらっしゃる方のお話を伺えたらと思います。いじめの対象に

なりやすいのは、少数派というか弱者というか、そういう子どもたちだと思うので、貧困や障がいや外国人のお子さんも、今大変多いと思います。それから、あまり子どもたちの世界では認知されてないのですが、LGBTというジェンダーアイデンティティーがなかなか一致しない方の問題により、これが原因で不登校になっているのではないかという現実はどうなっているのかとか、このような問題で、実際にいのちのホットラインなどに関わっている方の話なども、この協議会において聞くことができればよいのではないかと思います。

【委員】～少年指導委員

お話したいことは皆さんおっしゃられていますので、ここで少しお話したのが、自己重要感とか肯定感の話なのですが、これは褒められないと醸成しないと思います。ずいぶん前の話ですが、家の前の道を小学校3～4年生くらいの男の子たちが、ぞろぞろと歩いてきて、ちょうどお掃除をしているところで、風が強かったものですから掃いたごみが散らばってしまいました。そしたら冷やかすような言い方で、おばちゃんこっちにもあるよって言うように言われたのですが、その時に私は教えてくれたことに対し、ありがとうと言ったのです。そうしたら、頼まないのに皆で集めてくれ、それがうれしかったので学校に褒めていただくようお電話しました。いじめで悪いことはいけないよと言うことは大事なのですが、良いことをしたときには積極的に褒めてあげたり、ありがとうという言葉を伝えたりすることも、とても大事なことなのではないかと思っています。

【委員】～東入間警察署

いじめの認知件数は昔に比べると、積極的に認知することで増えていますが、この情報を私たちがどうやって活用していくのかということが大事になってくるのではないかと思います。このような協議会も素晴らしい機会ですので、勉強させていただきます。

【委員】～子ども未来部

このいじめ連協の条例を作って設置した目的は、基本は情報共有になっております。それぞれの、今日のように活動を出し合うことで共有して、それが、それぞれのところに広がっていくということが大事なのだと思います。私は先ほど啓発とか周知が課題と申し上げましたけれども、11月14日に「いじめのない学校づくり子ども会議」があつて、小学生、中学生の代表の方がいつも活発に議論していただいているのを見るにつけ、いじめ防止について全市で取り組むと言っておりますので、大人版の子ども会議、いじめ連協の拡大版みたいなものができる、1つの大きなイベントとして、周知や啓発につながるのではないかと思います。できればそのような機会が設けられればと思っております。

【委員】～健康福祉部

いじめ問題というのは非常に複雑で、ある意味社会の矛盾がここに噴き出てきていると、なかなか難しい問題ではあります。特にいじめの問題では

なく、その周辺で色々な問題があって、これも一つの吐き出し口がいじめということもありますし、いじめの問題を追求していくと、実は他の問題が色々隠れているというのがあります。なので、一般論として情報共有するのはいいのですが、実際には役立たないのかと。ただ、個別のケースで事例研究をしたとしても、それはあくまでも個別の問題なので、それがこの協議会としてやる意味があるかどうかという、なかなかそれも難しいかなと思います。でも、こういった会を持つことによって、情報共有するというのは相当の意味があると思いますので、今後もこの活動を続けていただければと思います。

【委員】～教育委員会

学校では様々な取り組みをして、いじめのない学校づくりに取り組んでいます。一人ひとりの子どもたちのために、このようなたくさんの方の目を、よく行き届かせていただいております。本当にありがたいと思っています。いじめのない、いじめをしないような子どもたちを育てていくために、学校のみならず様々な大人たち、関係団体の皆さま方のご協力をこれからもお願いしたいと思います。

【会長】では、このご意見を参考に今後の協議会の活動内容を考えていきたいと思っています。ありがとうございます。今回、いじめ問題対策連絡協議会として、皆様のいじめ防止対策の取組についてのご報告をお聞きしましたが、各所属の今後の活動へ参考にできるような事例もあったかと思えます。そこで、今回のアンケートをもとにその活動を取りまとめた資料を作成し、「いじめ防止サポーター」として登録している団体に送付するというのはいかがでしょうかという、事務局の提案があります。そのほか、児童館などこの協議会に所属していない団体等へ、参考資料として送付することができれば、他の団体のいじめ防止対策の参考にもしていただけますし、この協議会の活動を知ってもらうことにより、いろいろな連携につながると思います。いかがでしょうか。

～一同了承

【会長】では、今後、いじめ連協として、取り組ませていただきますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

4 事務連絡

今年度の協議会でございますが、本日で終了となります。

来年度につきましてもどうぞよろしくお願いいたします。

5 閉会 副会長